

令和5年度(前期) 運営推進会議の詳細

出席者：包括支援センター職員、地区民生委員、利用者家族
地域密着型通所介護の知見者、利用者

1. はじめに

- ・ 職員のコロナ感染(3名)にともなう、影響は多少みられたが通常の入力は続けることができた。今後の感染状況では、業務の縮小(一時的に入浴中止、時間減利用、重度者及び独居者の受入限定等)を検討していく。
- ・ 事業所周辺の環境整備を定期的に行っているが、数年前のような敷地内でのゴミの投げ捨て等の被害は少なくなっている。

《議事内容》

2. 事業運営状況

○利用実績状況報告

・別紙参照

*8月の利用減の原因(猛暑による体調不良、入院。入所等)について説明

○行事

・別紙、デイサービス便り(毎月発行)を使つての説明

*ひな祭り会、ミニ運動会、七夕会、夏祭り、保育園児との交流会(4年ぶり)

地域との交流会は、職員のコロナ発生にともない中止

○苦情(相談)

・自分だけに飲み物がないと訴えられる。*実際にはご本人が別の時間に飲み物を希望されていたことを忘れていた。

・利用者同士の物のやり取りによるトラブル、相談を受ける。

対処)職員が双方に話をする事で物のやり取りがないように理解していただく。

○事故

・狭心症の貼付剤(予防剤)の張替をせずに帰宅させてしまった。

対処)入浴後の張替を必ず、介護員が確認する。

・入浴後、脱衣室のドアを閉める時、確認せずに左手指を挟んでしまった。

対処)看護師により患部の痛み(腫れ)を確認したが問題なく、謝罪のみを行う。

○ヒヤリ・ハット

・送迎時に自分でシートベルトを外してドアを開けようとされた。

・歩行困難な方が午睡中に自分で歩いて静養室から出てこられた。

・利用者がポケットからお菓子類を出して食べていた。

・目を離している間に体温計を口に入れていた。

・お家から危険物(サバイバルナイフ、千枚通し)を持って来られていることを発見する。

・トイレに物を拾おうとしバランスを崩しそうになる。

・ホール移動、介助中に敷居で躓き、転倒しそうになる。

○職員関係

研修については、外部研修に1名が参加、内部での全体研修を実施。

3. その他

○防災、災害対策

・7/4防災自主訓練実施 職員及び利用対象

令和5年度 運営推進会議録

令和5年9月25日 11:00～11:50

場 所：相談室

出席者：包括支援センター職員、地区民生委員、利用者家族
地域密着型通所介護の知見者

【利用者からの感想】

- ・ いろいろな事を考えてやっておられるので感心し楽しみです。
- ・ 毎回、違う手作りお菓子は出してもらい、ほんとうに美味しく頂いている。
- ・ 急な避難訓練に驚いたが、突然に起こる事で何をすればよいのか分かった。

【各委員からのご意見、質問】

・ 浜田市包括支援センター

コロナなどの状況にどこまで業務が継続できるのか大変ですが、楽しみに来られている方のためにも続けてもらいたい。交流会なども可能な限りやってほしい。

・ 地域住民代表

コロナは学校関係でも多く出ているようなので高齢者施設でも気をつけておられると思いが今後も感染予防はしていくしかない。

周辺の道路にゴミは減ったが、釣り客の方かの？人糞が時々があり、市には引き続き報告はしていく。

・ 利用者家族

母は家族かコロナになった場合、その後の利用をどのようにしていくのか？5類になっていることもあるのでデイサービスでの考え方を知っておきたい。

・ 地域密着型通所介護の知見者

コロナが5類になってから、サービス事業所が休業されることはなくなっていますが、職員の方々に感染が広がると業務も大変だと思います。

【総評】

- ・ コロナ感染の心配が薄れてきているが介護サービスでは引き続きの感染対策(消毒、換気、利用中のマスク着用)を徹底する。今後に感染が発生した場合は段階的に対策をとりながら業務継続を行っていく。
- ・ 委員からの質問であった利用者やご家族がコロナになった場合については、利用者ご本人は5日後の体調(咳、発熱等の症状)で利用を判断、ご家族にコロナが出ている場合は、健康観察をしながら通常の利用をしていただけます。
- ・ 来年4月の制度改正の中での業務継続(BCP)の整備については、次回の運営推進会議で具体的な説明ができるようにしておく。